

令和5年度 学校だより 8・9月号 8月28日発行

横浜市中区山元町3-152
電話 641-4857



やまもと

横浜市立山元小学校
校長 前島 潤

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子

暑い夏 熱い、厚い山元のまち

学校長 前島 潤

暑い暑い夏休みでした。私たち人間だけではなく、多くの生き物が暑さにまいる中、セミたちは元気に鳴き続けていました。セミに夏バテは無いようです。夏の到来を告げるニイニイゼミ。早朝と夕方など、涼しいときに鳴くヒグラシ。そして、最近生息地を広げ、横浜でも増えているクマゼミ。真夏を実感させる響きはアブラゼミとミンミンゼミ。ツクツクボウシが鳴く頃は、夏も終わりに向かいます。(※最近に残暑が長く、秋がなかなかやってきましたが・・・)

山元小でも多くのセミの幼虫たちが地中から顔を出し、成虫となって大空に飛び立ちました。羽化の場所は木の幹や枝に限りません。児童昇降口前の柱でも数匹羽化していました。どこから歩いてきたのでしょうか。どうしてここを選んだのでしょうか。不思議に思いますが、セミの事情があるのでしょうか。



児童昇降口前の柱で羽化したアブラゼミの羽化殻

8月12日、13日に第六地区の祭礼である「根岸八幡宮祭礼」が行われました。私が着任してからは、コロナ禍のため開催が見送られておりましたので、各町会・自治会のお神輿が本校の運動場に並ぶ様子を是非この目で見てみたいと、個人的に思い続けていました。

13日の「連合渡御」では、子ども神輿も登場。元気よく商店街の通りを進んで

いきます。久しく会うことができなかつた子どもたちの生き生きとした姿に心が躍りました。みんなとってもよい表情です。子ども神輿の後に本神輿が続きます。どの町会・自治会もさすがの迫力。通りは熱気に包まれ、まちの方々の心が一つになっていきます。

いよいよ6基のお神輿が運動場にやって来ました。担ぎ手の皆さんの掛け声が響き合い、祭礼の熱気は最高潮に達します。ずらりと並ぶお神輿、そしてそれを囲む各町会・自治会の方々。それは、私が想像していたよりも勇ましく、荘厳な風景でした。



二日間の祭礼を通し、祭りに関わるまちの方々の熱い思い、勇ましい姿に心引かれたのですが、もっと素敵だったのは、参加している子どもたち一人ひとりをまちの方々が大切に思い、時に優しく寄り添い、時に温かく見守る姿でした。子ども神輿を担ぐ生き生きとした様子、そして、そこで見られた子どもたちの笑顔は、このまちの子どもを思う心がつくりだしたものだと感じました。

子どもは、家庭や学校だけで育つのではなく、地域の中で育っていくことを実感した祭礼でした。そして、子どもを大切にする「厚い」心をもつ方々がたくさんいらっしゃる山元のまちが、もっと好きになりました。

7月30日（日）に延期されていた創立100周年記念祝賀会が行われました。コロナ禍において準備していたこともあり、当初の計画よりも規模を小さくした会となりました。それでも、約100名の方々にご参会いただきました。ありがとうございました。

地域の皆様、保護者の皆様、150周年、200周年に向け、これからも山元小学校の教育活動にご理解とご支援をよろしくお願いたします。